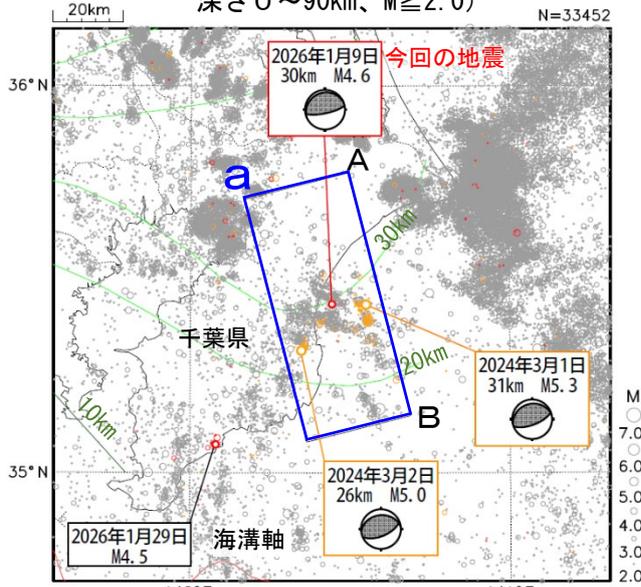


1月9日 千葉県東方沖の地震

震央分布図

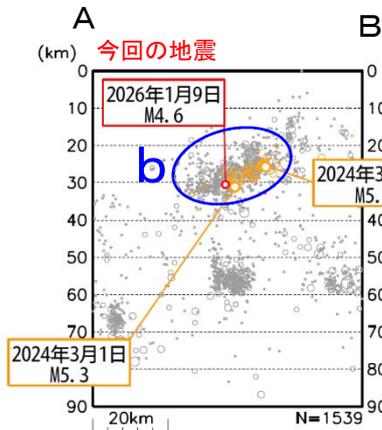
(1997年10月1日～2026年1月31日、
深さ0～90km、M \geq 2.0)



1997年10月1日から2024年2月25日までは灰色
2024年2月26日から2024年3月25日まではオレンジ色
2024年3月26日から2025年12月31日までは灰色
2026年1月1日以降を赤色で表示

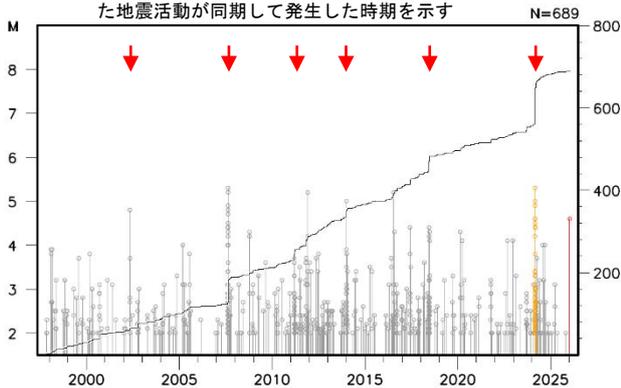
震央分布図中の緑色の破線は、弘瀬・他 (2008) によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図

赤矢印はプレート境界でゆっくりすべりとまとまった地震活動が同期して発生した時期を示す



情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北東部〕である。

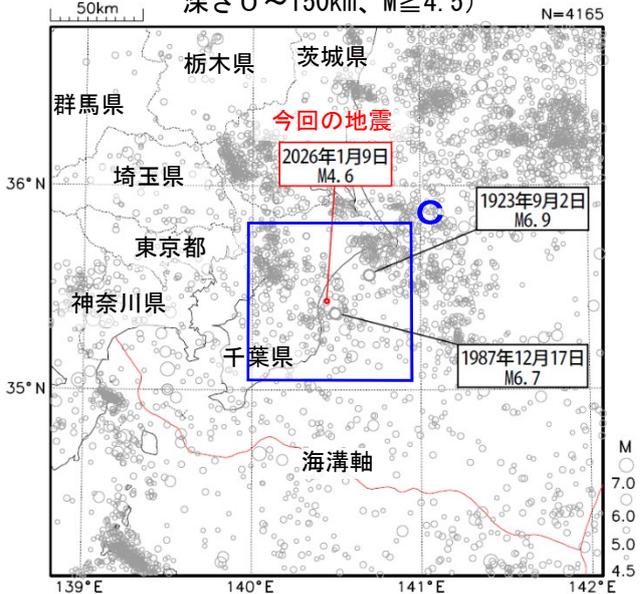
2026年1月9日20時07分に千葉県東方沖の深さ30kmでM4.6の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構は、南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では時々、プレート境界で発生したゆっくりすべり (国土地理院及び防災科学技術研究所による) を伴うまとまった地震活動がある。2024年の地震活動では、2月26日から地震活動が見られ、3月1日にM5.3の地震 (最大震度4) の地震が発生するなど、3月25日までに震度1以上を観測した地震が48回発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生したM6.7の地震 (最大震度5) では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2026年1月31日、
深さ0～150km、M \geq 4.5)



領域c内のM-T図

